

# 05

## お金と賢くつきあっていくために ～借金についての考え方～

### 知識

私の勤務する日本ファイナンス下関店には日々、多くのお客様が来店され、融資希望のご相談を頂いている。お申込の理由は出張費の立替精算や、孫の節句のお祝い、入院中の父親の治療費、子供の高校進学にかかわる費用など様々だ。

借金＝パチンコなどのギャンブルや娯楽目的という印象を持たれている方には少し意外に感じられたかと思う(もちろん中にはどうしてもスロットが止められないと話されるお客様もいるが、その方がこれまで返済を遅れたことは一度もないことを強調しておきたい)。現在の仕事に従事するまで、私も実際そのような印象を持っていた。しかし日々お客様のご相談をお聞きする中で気がついたことがある。それは借金をする理由は人それぞれであっても、その表情は皆一様にとっても明るく、そして前向きなのだ。そう、「借金をする時に、不幸になろうと思ってする人などいない」のだ。

これは借金と付き合っていく上でとても基本的な、そして大切な認識であるとは私には思っている。借金の話をする時、ほとんどの人は「借金は人を不幸にする、悪い行為だ」という認識に立つ。債務整理等を行う弁護士や司法書士、債務者の生活再建支援を行うカウンセリング機関など、そしてもしかすると貸金業者が加盟する日本貸金業協会ですら、同様の考え方をしている。しかし借金をすることが不幸の原因であればなぜローンやクレジットが無くなるのだろうか。

お金を必要とする理由はそれぞれ違っても、現状をより良くする為に借金をすることは必ず共通している。借金問題を抱えて不幸な状況に陥ってしまっている人は、借金という行為にではなく、その方法や過程に問題があったのではと考える必要があり、借金をしたという事実やその動機に対しては肯定的な態度をもって接してゆくべきであると思う。

借金は人を不幸にはしない。むしろ幸せになるための手段のひとつとして借金があるということをしっかりと発信していきたいと思う。

日本ファイナンス有限会社  
下関店 店長  
松原 剛

AFP(日本FP協会認定)  
TEL083-234-3544

<http://nihon-finance.com>

借金で苦しむ人への的確なアドバイスで定評がある、消費者金融のプロフェッショナル。弁護士の人脈、債務カウンセリング、真摯に相談に乗る姿勢が認められ、感謝の声が多数寄せられている。ラジオなどのメディア出演を通して、借財に対する正しい認識を広めている。

